



## 第 19 回 例会 報告 (11月26日)

## 【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	32名	・欠席数	22名
・当日出席率	62.70%	・前々回修正出席率	98.04%		

<欠席会員>原、平尾、平田、木村、小堀、久米、桑森、眞鍋、見乗、宮道、村上(裕)、西本、大澤、岡本、坂本、丹下、八木(真)、八木(伸)、山本  
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、光藤  
 <11/12 欠席補填>(11/2 今治北)河野、眞鍋、岡田、八木(真)、山本 (11/11 東予)原、片山、小堀、桑森、西本、丹下

- ◇**会長報告**・今年も四国ガス様よりカレンダーを頂きました。ご入用の方はお持ち帰り下さい。
- ◇**幹事報告**・来年1月23日(土)18:00~19:30 今治国際ホテルにて今治3RC 合同新年会が予定されています。なお、開催の可否は新型コロナウイルスの感染状況を見ながらご案内します。
- ◇**親睦活動委員会・お誕生日スピーチ**・渡邊道信会員：コロナ禍で体重が3kg太りお腹も出てしまいましたので何か運動しようと思っています。ロータリー活動も28年と一番古くなりました。ロータリーの勉強、仕事も頑張りたいと思いますので、今後もよろしく願います。▼安藤雅樹会員：パースデーソングは小学生以来で嬉しいような恥ずかしいような、こそばゆい感じです。実は退職後のことも考えロト6、ロト7を買い続けて早や8年になりますが、高額当選はかすりもしません。買わないと当たりませんので、これからも夢をもって買い続けていきます。

## ロータリー財団委員会アワー

◆**青野淳一委員長**：はじめに、今治自然科学教室への地区補助金を活用した支援活動については、これまで望遠鏡や辞典などを提供し研究好きな子供たちの活動に大いに役立っているようです。また今朝、常盤小学校に行きましたが子供たちは元気いっぱい、改めて良い大人づくりの大切さを感じました。来年度以降も今治RCの活動として寄付(1,000ドル)のご協力をお願いしてまいりますので宜しくお願いします。なお、今年度は予定を満了できました。ありがとうございました。▼ロータリークラブは1905年、ポール・ハリスが仲間が欲しいということから始まり、様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、仲良くなることで困難な時代を乗り切っていこうとする集まりでした。その後、他の人々の役に立とうということでも米国内で奉仕活動が広がりました。1917年にアーチ・克蘭フが米国ジョージア州アトランタの国際大会で「ロータリーが基金を創ってお金を集め、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で何か良いことをしよう。」と提案しました。しかし、それから7~8年間は全然お金が集まりませんでした。紆余曲折を経て基金への寄付の一番の契機は、1947年ロータリー創設者ポール・ハリスの逝去で、自分に何かあったら寄付をお願いしたいとの彼の思いに多くの会員からもの凄い多額の寄付が集まったそうです。実は基金への最初の寄付は、米国のあるRCが記念品を贈る代わりに行った寄付金26ドル50セントでした。▼ロータリー財団ができたもう一つの理由に、当財団が非営利財団法人であり当時のイリノイ州の法律で寄付しても税金がとられない、いわゆる税法上の優遇措置が大きかったようです。余談ですが、なぜロータリーの期が7月から始まるのかご存知ですか？国際大会が従来8月後半にあり規模拡大により定時に決算をする必要があることで少し前の7月になった、また国際大会が暑さの関係で6月になり、末日で締める関係で新たな期が7月からになったようです。なお、ロータリー財団のお金は地区補助金やポリオプラス補助金などの形で使われています。最後に新型コロナウイルスの終息を願いましてお話を終わります。

## 次回例会(12月3日)

## 【 年次総会 】

<会員誕生日祝> 佐々木達耶氏(12/4) 平尾浩一郎氏(12/9)  
 <配偶者誕生日祝> 坂本 考弘氏(12/7)  
 <入会記念日祝> 久米 操氏(12/2)

〔 笹 〕